

2024年8月2日

各位

金沢信用金庫

中小企業景気動向調査の結果について

金沢信用金庫（理事長 広岡 克憲）では、中小企業景気動向調査を四半期毎に実施しています。つきましては、今期（2024年4～6月）の調査結果を下記のとおりご案内いたします。

記

概況 [業況・売上額・収益ともに改善]

金沢信用金庫が行った中小企業 137 社の景気動向調査（調査回答先：金沢市中心の業務区域内 200 社・回答率 68.5%）の概況は次のとおりです。

今期の全産業ベースの業況判断D I（「良い」・「やや良い」－「悪い」・「やや悪い」の構成比、以下同じ）は▲6.6（前期▲17.5）と 10.9 ポイント改善しました。

業種別では、製造業が▲15.6（前期▲30.0）と 14.4 ポイントほか、小売業が▲25.0（前期▲40.0）と 15.0 ポイント、卸売業が 0.0（前期▲46.2）と 46.2 ポイント、建設業が 18.2（前期 3.7）と 14.5 ポイント改善し、不動産業は 0.0（前期 30.8）と 30.8 ポイント悪化しました。サービス業が 0.0（前期 0.0）と前回の水準を維持しています。全産業ベースでの来期予想D I は▲7.4 と現在水準を維持すると予想しています。

また、全産業ベースの売上額判断D I は 12.7（前期▲20.6）と 33.3 ポイント改善、収益判断D I も 5.2（前期▲24.4）と 29.6 ポイント改善しました。来期予想では、売上額判断D I が 11.9、収益判断D I も 5.3 と現在水準を維持すると予想しています。

今回の調査で経営上の問題点として最も多かった回答は「売上の停滞・減少」（全回答中 40.1%）で、以下、「人手不足」（全回答中 36.5%）、「原材料高」（全回答中 30.7%）でした。また、当面の重点経営施策として最も多かった回答は「経費を節減する」（全回答中 38.7%）で、以下、「人材を確保する」（全回答中 35.8%）、「販路を広げる」（全回答中 24.8%）という結果となりました。

（注）2024年1～3月を前期、2024年4～6月を今期、2024年7～9月を来期といたします。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

金沢信用金庫 営業店サポート部

〒920-8710 金沢市南町 1-1

TEL (076) 231-0274 (ダイヤルイン)

FAX (076) 231-7864

<https://www.shinkin.co.jp/kanazawa/>

中小企業景気動向調査

(2024年4～6月調査)

きんしん
景況レポート
vol.184
(2024年8月2日発行)

目次

全業種業況概要(業況～設備の状況)	1
業種別業況の推移	3
製造業／卸売業／小売業	4
建設業／サービス業／不動産業	5
中小企業における災害などへの対応について	6

調査方法

この調査は中小企業を対象に
Webアンケートを実施し
ご回答いただいたものです。

調査時点

2024年6月初旬

調査対象時期

2024年4月～6月実績及び
2024年7月～9月予想

調査対象企業の業種別及び有効回答数

	企業数	構成比(%)	有効回答数	回答率(%)
製造業	56	28.0	45	80.4
卸売業	21	10.5	13	61.9
小売業	42	21.0	24	57.1
建設業	32	16.0	22	68.8
サービス業	32	16.0	22	68.8
不動産業	17	8.5	11	64.7
合計	200	100.0	137	68.5

分析方法

D.I (ディフュージョン・インデックス)

A=良い(増加・上昇・過剰)

B=ややA

C=普通(変わらず・適正)

D=ややE

E=悪い(減少・下降・不足)

$D.I = A \cdot B - D \cdot E$

この調査の中では傾向を見る方法の一つとしてD.Iを中心として分析したもので、D.IはDiffusion Index(拡張指数)の略です。

企業が景況判断・予想を5段階(A,B,C,D,E)で行います。不変部分(C)を除いて増加(AもしくはB)したとする企業が全体に占める構成比と減少(DもしくはE)したとする企業の構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトル(方向線)の傾向を見る方法です。

概況

業況・売上額・収益ともに改善

金沢信用金庫が行った中小企業137社の景気動向調査(調査回答先:金沢市中心の業務区域内200社・回答率68.5%)の概況は次のとおり。

今期の全産業ベースの業況判断DI(「良い」・「やや良い」・「悪い」・「やや悪い」の構成比、以下同じ)は▲6.6(前期▲17.5)と10.9ポイント改善した。

業種別では、製造業が▲15.6(前期▲30.0)と14.4ポイントほか、小売業が▲25.0(前期▲40.0)と15.0ポイント、卸売業が0.0(前期▲46.2)と46.2

ポイント、建設業が18.2(前期3.7)と14.5ポイント改善し、不動産業は0.0(前期30.8)と30.8ポイント悪化した。サービス業が0.0(前期0.0)と前回の水準を維持している。全産業ベースでの来期予想DIは▲7.4と現在水準を維持すると予想している。

また、全産業ベースの売上額判断DIは12.7(前期▲20.6)と33.3ポイント改善、収益判断DIも5.2(前期▲24.4)と29.6ポイント改善した。来期予想では、売上額判断DIが11.9、収益判断DIも5.3と現在水準を維持すると予想している。

今回の調査で経営上の問題点として最も多かった回答は「売上の停滞・減少」(全回答中40.1%)で、以下、「人手不足」(全回答中36.5%)、「原材料高」(全回答中30.7%)であった。また、当面の重点経営施策として最も多かった回答は「経費を節減する」(全回答中38.7%)で、以下、「人材を確保する」(全回答中35.8%)、「販路を広げる」(全回答中24.8%)という結果となった。

(注)2024年1～3月を前期、2024年4～6月を今期、2024年7～9月を来期という。以下同じ。

景況天気図

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。)

好調 ← ☀️ ☁️ ☔️ ☂️ ☁️ ☔️ ☂️ → 低調

業種名	2022年(令和4年)		2023年(令和5年)				2024年(令和6年)		見通し 2024年(令和6年)
	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月
総合	☁️	☁️	☔️	☁️	☁️	☁️	☔️	☁️	☁️
製造業	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☔️	☔️	☁️
卸売業	☁️	☀️	☀️	☁️	☁️	☁️	☔️	☁️	☁️
小売業	☔️	☔️	☔️	☔️	☁️	☁️	☔️	☔️	☔️
建設業	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☀️	☁️	☀️	☁️
サービス業	☔️	☁️	☔️	☁️	☔️	☁️	☁️	☁️	☁️
不動産業	☁️	☔️	☔️	☁️	☁️	☁️	☀️	☁️	☀️

全業種

	2022年(令和4年)		2023年(令和5年)				2024年(令和6年)		見 通 し 2024年(令和6年)
	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月
業 況	△12.5	7.1	△16.6	△ 0.6	△ 4.2	2.5	△17.5	△ 6.6	△ 7.4
売 上 額	2.8	19.4	△18.8	8.3	10.7	3.8	△20.6	12.7	11.9
受 注 残	△ 1.2	29.6	△21.0	3.8	2.5	4.2	△28.6	△ 3.1	△ 1.5
収 益	△ 8.5	10.6	△21.2	△ 8.9	△ 4.2	△ 7.6	△24.4	5.2	5.3
販 売 価 格	29.0	34.7	27.1	32.5	27.4	28.0	11.9	20.3	16.2
原 材 料 価 格	67.0	70.0	57.4	54.4	54.2	42.0	37.5	56.6	50.0
在 庫	10.2	△ 4.3	△ 2.1	2.8	4.3	9.1	1.5	1.8	△ 2.6
資 金 繰 り	△10.2	△11.2	△ 9.5	△ 7.1	△ 8.3	△ 8.9	△16.3	△ 2.9	△ 8.8
雇 用 (人手)	△30.7	△34.1	△33.9	△33.7	△34.5	△35.0	△31.9	△30.4	△34.8
設 備 状 況	△16.0	△14.7	△13.5	△11.0	△14.3	△15.4	△13.6	△15.9	△11.9

設備投資動向

設備投資は、不動産業を除いた126社の動向です。

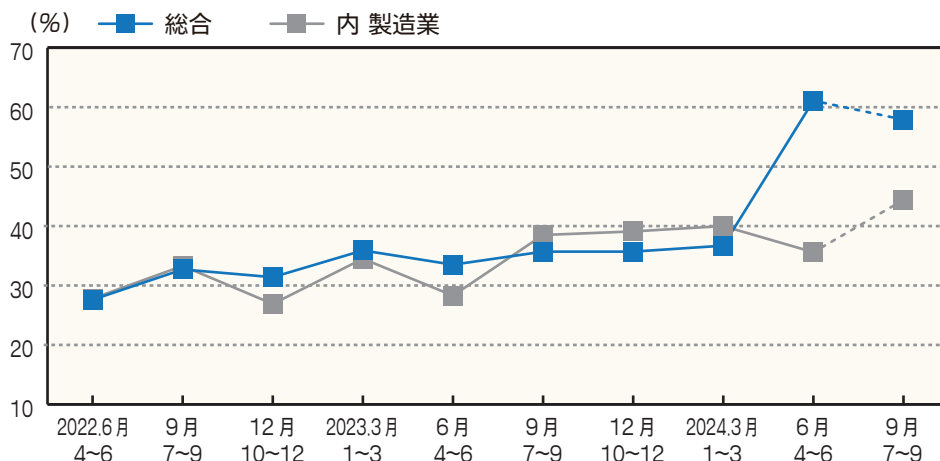
● 4～6月の設備投資実施状況

		有	無
	数	77	49
総 合	%	61.1	38.9
(内 製造業)	数	16	29
	%	35.6	64.4

(来期見通し)

		有	無
	数	73	53
総 合	%	57.9	42.1
(内 製造業)	数	20	25
	%	44.4	55.6

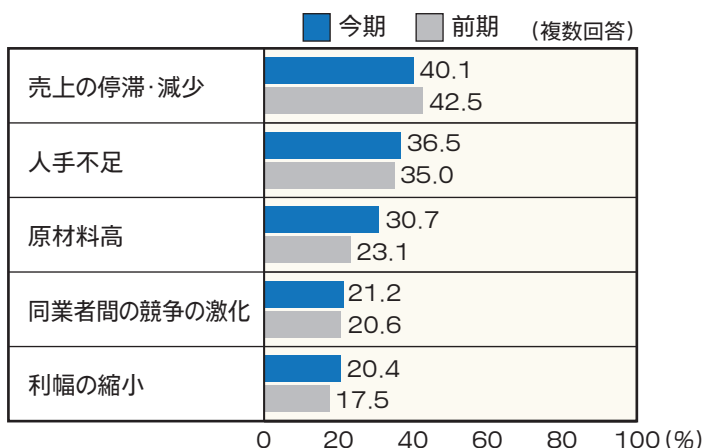
● 設備投資実施(予定)割合



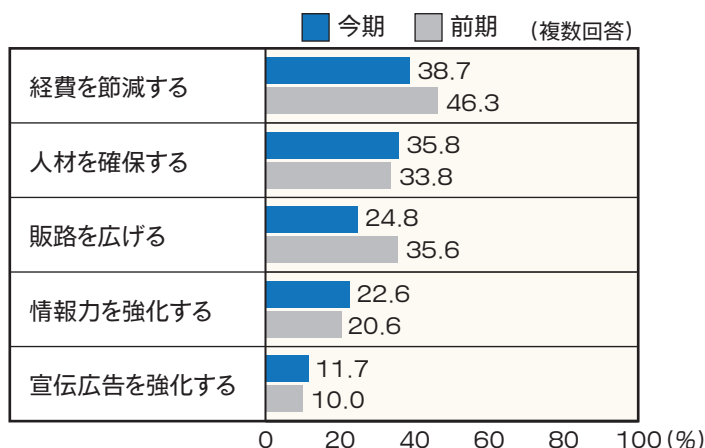
● 4～6月に実施した設備投資の内訳(複数回答)

		事業用 土地・建物	機械・設備の 新增設	機械・設備の 更改	事務機器	車両	その他
	%	5.6	7.9	31.7	7.9	24.6	0.8
総 合							
(内 製造業)	%	8.9	8.9	24.4	2.2	13.3	2.2

経営上の問題点



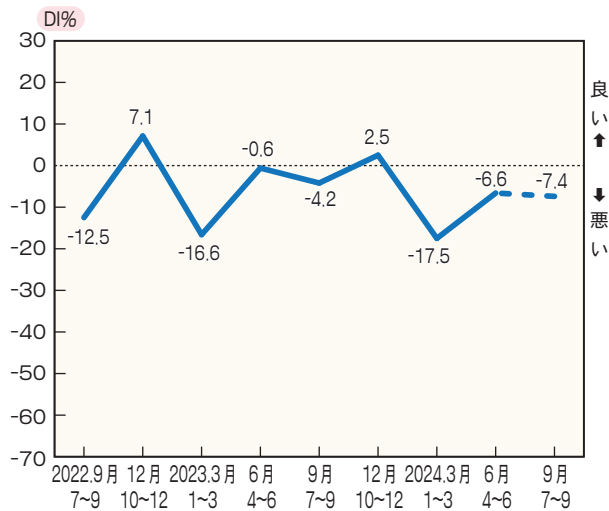
重点経営施策



全業種

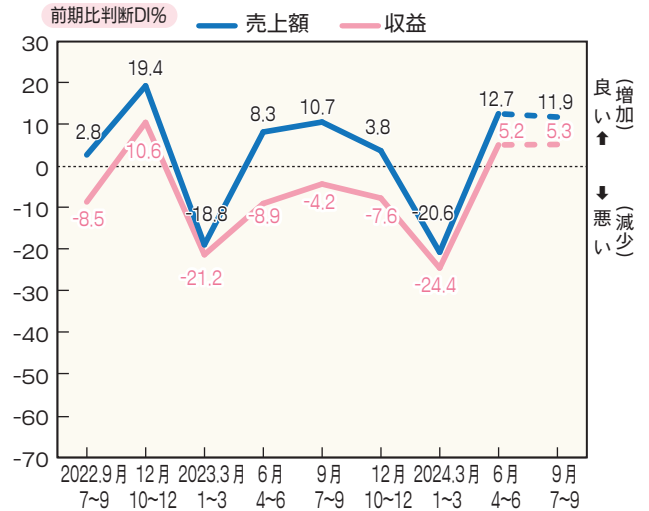
業況

前期から10.9ポイント改善し、
来期は現在の水準を維持すると予想



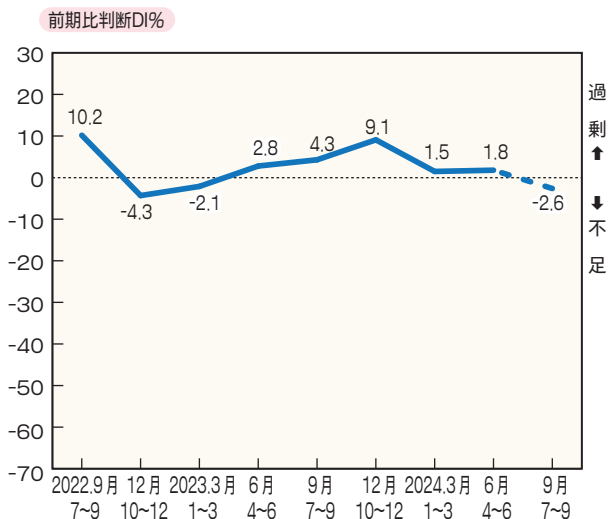
売上額・収益

売上額・収益ともに大きく改善、
来期はともに現在の水準を維持すると予想



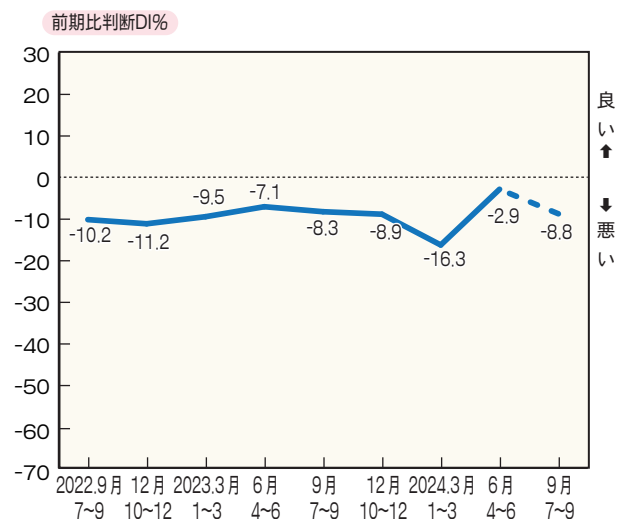
在庫

今期1.8 (前期1.5)と
水準を維持



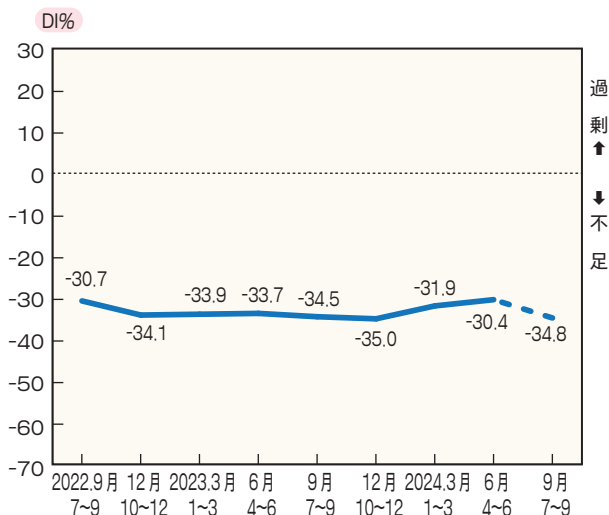
資金繰り

今期▲2.9 (前期▲16.3)
と改善



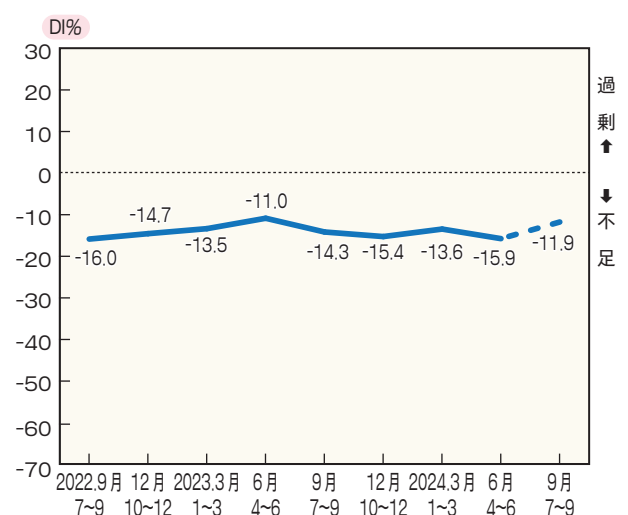
雇用

今期▲30.4 (前期▲31.9)と
▲30.0以下を維持



設備の状況

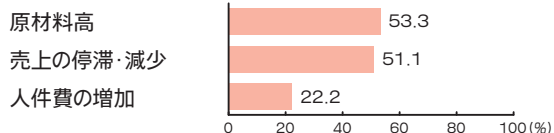
今期▲15.9 (前期▲13.6)と
▲10.0以下を維持



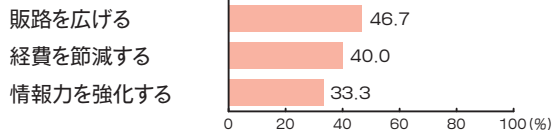
製造業

業況・売上額・収益
ともに改善

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



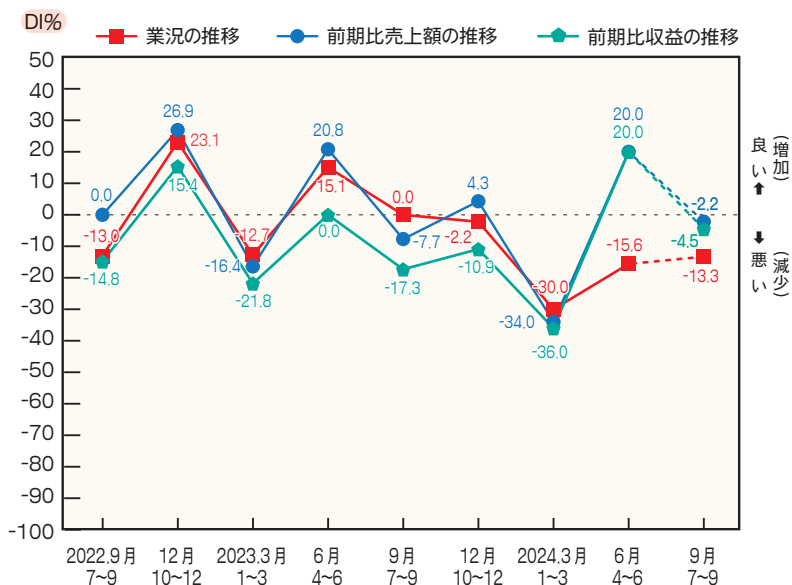
◆ 昨年同時期 (2023年4~6月) に比した動き

売上額	2.2
収益	△2.2

◆ 借入金の動き

借入の実施	37.8%
借入の予定	24.4%

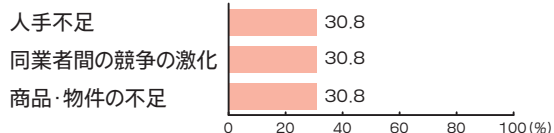
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



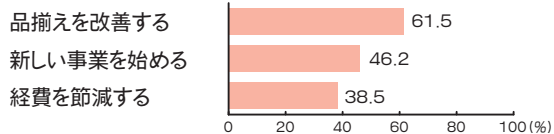
卸売業

業況・売上額・収益
ともに改善

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



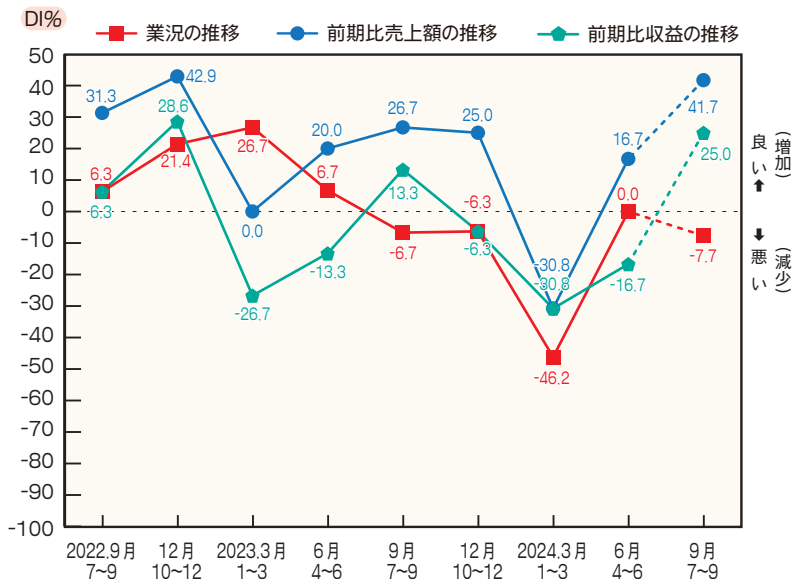
◆ 昨年同時期 (2023年4~6月) に比した動き

売上額	0.0
収益	0.0
販売価格	23.1

◆ 借入金の動き

借入の実施	46.2%
借入の予定	38.5%

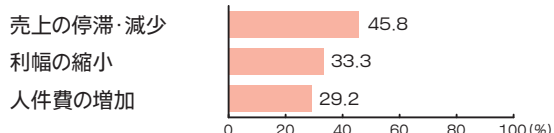
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



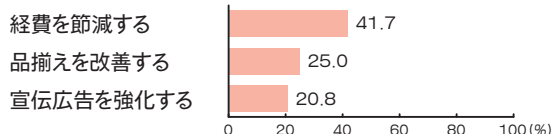
小売業

売上額が大きく改善

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



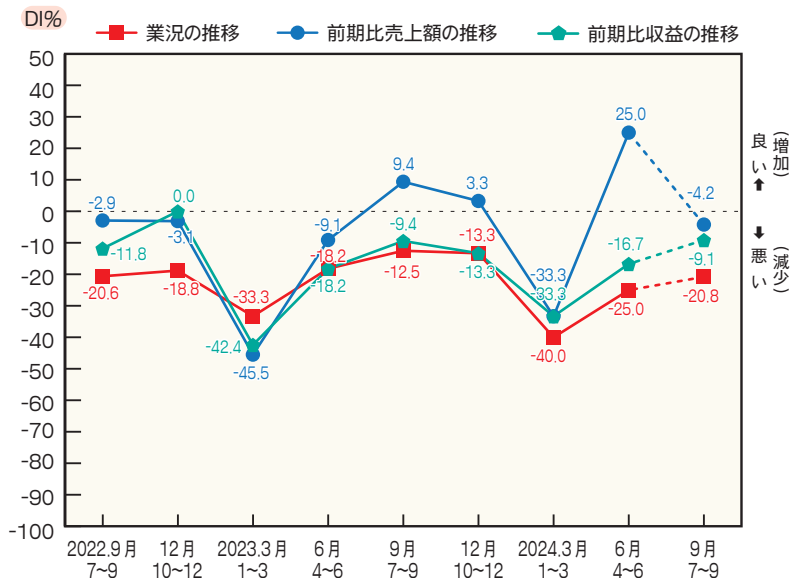
◆ 昨年同時期 (2023年4~6月) に比した動き

売上額	△4.3
収益	△4.3
販売価格	40.9

◆ 借入金の動き

借入の実施	8.7%
借入の予定	8.7%

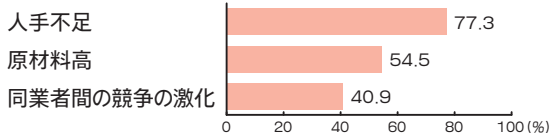
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



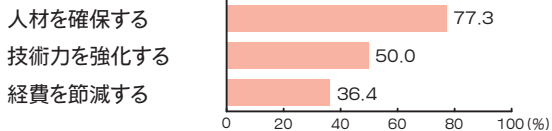
建設業

業況・売上額・収益
ともに改善

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



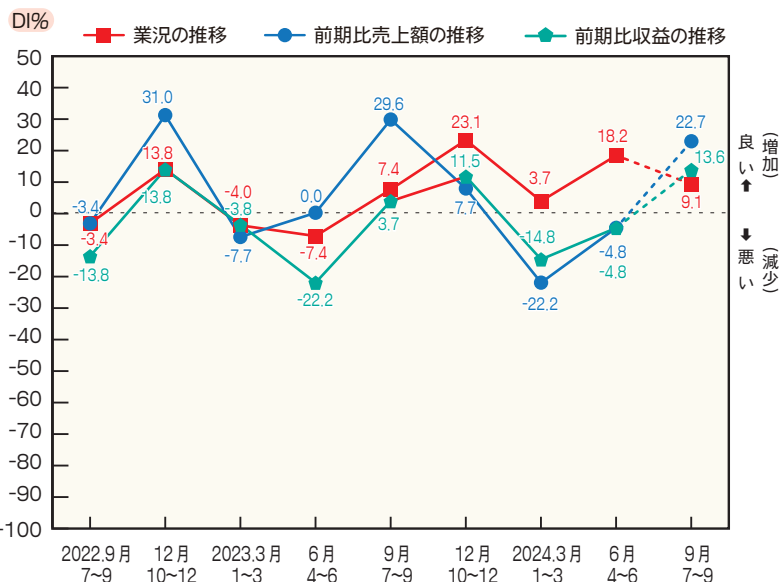
◆ 昨年同時期(2023年4~6月)に比した動き

売上額	0.0
収益	△4.8

◆ 借入金の動き

借入の実施	20.0%
借入の予定	28.6%

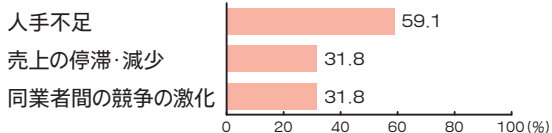
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



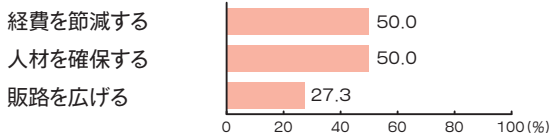
サービス業

収益・売上額のみ改善し、
業況は前回の水準を維持

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



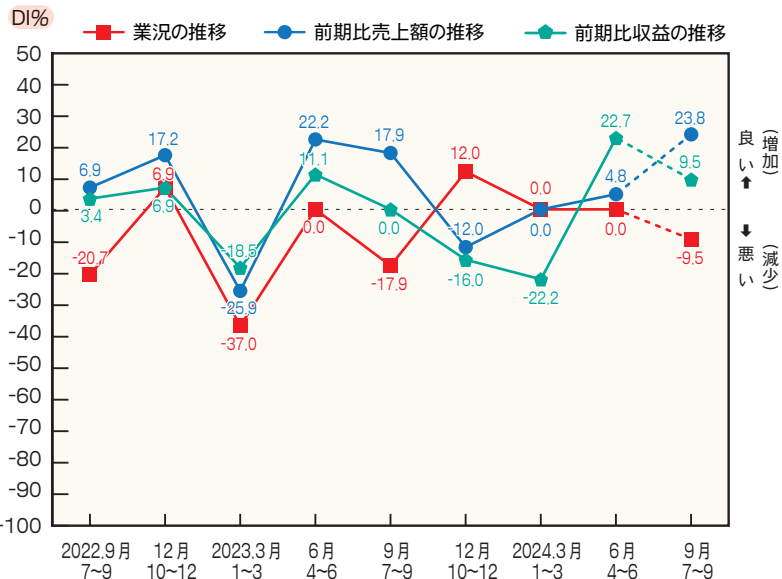
◆ 昨年同時期(2023年4~6月)に比した動き

売上額	23.8
収益	22.7

◆ 借入金の動き

借入の実施	9.5%
借入の予定	19.0%

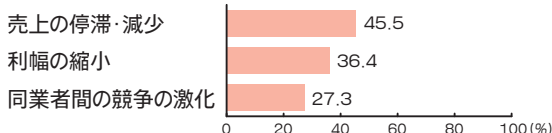
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



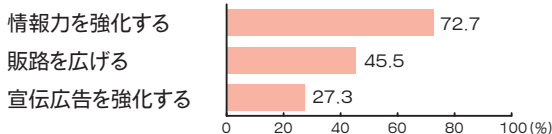
不動産業

業況・売上額・収益
ともに悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



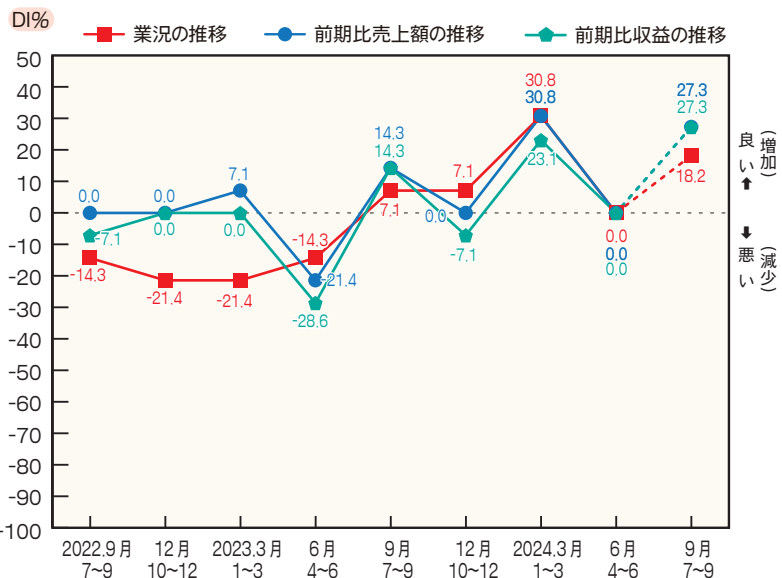
◆ 昨年同時期(2023年4~6月)に比した動き

売上額	△9.1
収益	△9.1

◆ 借入金の動き

借入の実施	45.5%
借入の予定	45.5%

◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移

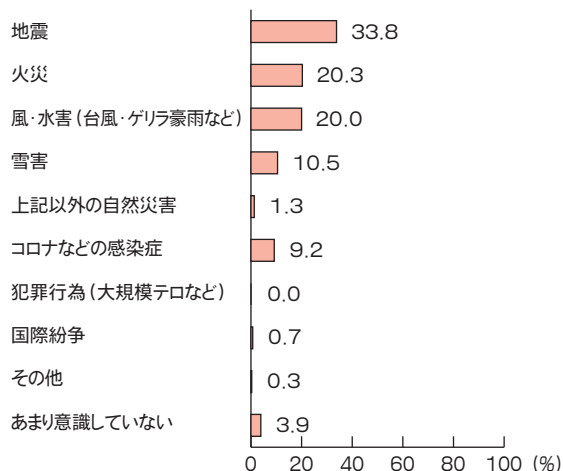




中小企業における災害などへの対応について

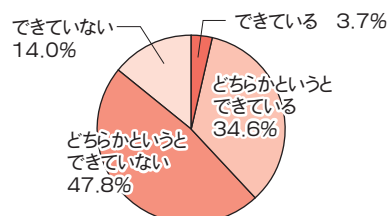
137社に調査し回答をいただいたものです。

- 1** 普段どのような災害を意識しているか当てはまるものを3つまでお選びください。

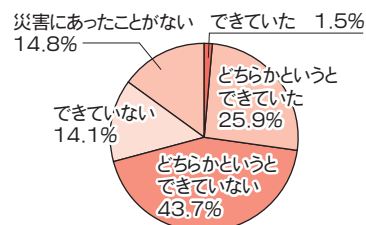


- 2** 自社の現在の災害への備えについてどのように評価していますか。また、実際に災害にあった際、自社のそれまでの備えについてどう感じましたか。それぞれに当てはまるものをお選びください。

現在の災害への備えの自己評価

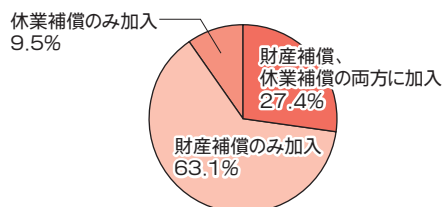


実際に災害にあった際に自社への備えをどう感じたか

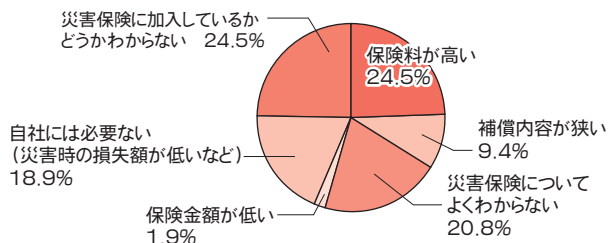


- 3** 事業継続にかかる保険、具体的には財産補償 (設備や店舗が損壊した時の補償) や休業補償 (休業を余儀されなくされた時の損害の補償) に加入されていますか。加入している方、加入していない方それぞれに当てはまるものをお選びください。

加入している (その内容)

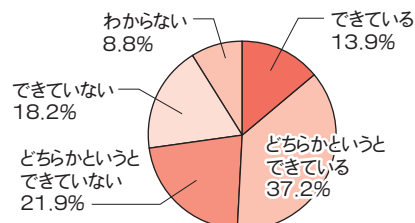


加入していない (その理由)

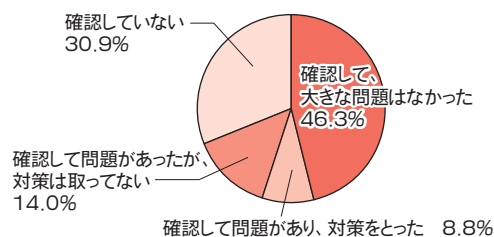


- 4** 使用している建物の耐震について、どのように考えていますか。また、自社所在地周辺のハザードマップ (洪水や土砂災害、地震・津波など) を確認していますか。状況について最も当てはまるものをそれぞれお選びください。

建物の耐震について

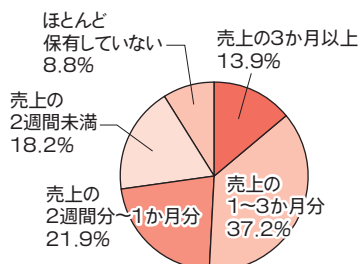


ハザードマップの確認について



- 5** 災害時への対応として、一定程度の現預金を保有しておくことがBCP策定基準などで推奨されていますが、現預金の保有が最も少ない時期 (売掛金の回収直前など) を想定したうえで、現預金をどの程度保有していますか。また、自治体や信用保証協会、政府系金融機関などの公的団体から、災害対策金融支援 (災害復旧貸し付けやセーフティネット保証4号など) を受けたことがありますか、それぞれ当てはまるものをお選びください。

現預金の保有状況



災害対策金融支援

